



# くらしの情報

## 2025 消費者まつり開催

令和7年5月24日（土）に徳島市ふれあい健康館にて、徳島県と徳島県消費者協会の主催により「明日の地球を救うため、消費者にできること グリーン志向消費～どのグリーンにする？～」をテーマに「2025消費者まつり」を開催しました。

開会挨拶の後、表彰式があり、今年は、消費者支援功労者表彰「ベスト消費者サポーター章」に阿南市消費者協会の長久生實さん、徳島市消費生活センター消費生活相談員の毛利憲昭さん、放置竹林の竹を堆肥化するなどの「資源循環型」活動が評価された徳島県立阿南光高等学校が選ばれ、消費者庁新未来創造戦略本部の小田典靖総括室長から賞状及び記念品が授与されました。

消費者行政関係の知事表彰は、「とくしまエシカルアワード表彰」に、不要になった衣類の無料譲渡活動「服活」が評価された徳島県立那賀高等学校、「徳島県消費者志向経営推進事業者表彰」に、環境問題や社会課題等への取組を促進する金融商品・サービスを提供している株式会社徳島銀行が選ばれ、佐藤美奈子徳島県生活環境部交通・生活安全担当部長から表彰状と記念品が授与されました。

また、「くらしのサポーター活動功労者表彰」には、鴨島町消費者協会の大串ヒデ子さん、山川町消費者協会の南蘭民代さんの2名が、消費生活コーディネーター活動功労者表彰には、三好市消費者協会の高井マサ代さんが選ばれ、それぞれに表彰状が授与されました。



続いて、消費者庁から「消費者教育推進大使」に、県のマスコットキャラクター「すだちくん」が委嘱を受けました。

このあとの消費者宣言では、令和6年度消費者大卒業生6名から、大学で学んだ消費者問題についての発表がありました。



午後からは、有限会社NOUDAの納田明豊氏による「納田牧場のサステナブルな取り組みについて」と題した講演会がありました。

各フロアでは、行政機関や県警本部、研究機関等からの出展があり、消費者被害防止への啓発を行いました。また、各地区の消費者協会と専門学科を有する高等学校5校の出展ブースでは、地域の特産品や手作り品、学校で開発した商品の販売が行われ、早くから多くの来場者で賑わい、交流を深めることができました。

今後も私たちを取り巻く消費者問題への取り組みを通し、豊かな消費生活を送るための行動をしていきましょう。





## 東 部 地 区

### 徳島市

講師の顔写真入り入学案内、受講方法等の改変で、今年消費者大学校受講者は130名を超えた。徳島市在住の方は70名余、本協会員も20名と増加した。受講生の声を紹介したい。

- ◆出荷できない野菜は周囲の人に配っている。日本の食品ロスの現状は身につまされた。店頭での手前取りを実践したい。
  - ◆先生の講義は上手でためになった。スマホ、詐欺メールの話は身近で分かりやすかった。班活動やゲームもあり楽しく学べた。
  - ◆知らなかった商標やマークを日常で発見し再認識している。食品の重さに対し摂取できる蛋白質質量も知り、即生活に役立った。
- 受講生の消費生活への意識の高まりが感じられる。今後も情報提供をしていきたい。

(生長まち)

### 佐那河内村

佐那河内村消費者協会は、7月6日3万本のあじさいが咲きはこる大川原高原で開催された「さなごうちあじさい祭り」会場において、振り込め詐欺などの消費者トラブルの防止や食品ロスの削減についてキャンペーンを実施した。

当日は好天に恵まれ、会場を訪れた人々に「あなたのお金狙われとるじょ!!」などトラブルに遭わない事、無駄のない食生活をしましょうとパンフレット・グッズを配布した。

(長尾久代)



### 勝浦町

私たちは、各種団体と連携し、5月6日（火）の他団体が主催する恐竜運動会に防災食の豚汁100食分を作り、参加者に試食していただき喜んでいただいた。5月16日（金）には総会を開催し、小松島警察署生比

奈駐在所長さんから「オレオレ詐欺防止」についてお話をいただき、お互いがオレオレ詐欺に引っかからないようにと声をかけ合った。また、いろいろな人に消費者協会の活動をもっと知ってもらおうと、11月中旬に「道の駅ひなの里かつうら」でマルシェが予定されており、私たちは、ブースを構えて「食品ロス削減・振り込め詐欺防止キャンペーン」を予定しているので、その節には、ぜひ勝浦町にお立ち寄りください。

(秋成ふみよ)



## 南 部 地 区

### 阿南市

真夏の研修旅行は「造幣博物館」と「天満天神繁昌亭」。博物館は自由見学で、日本の硬貨作りの歴史や大判小判の数々、光り輝く100円硬貨。20キロの千両箱を持ち上げる人もいて、楽しく充実した見学だった。外国の記念コインは美しい物があり見とれてしまう。ホテルのランチバイキングを充分頂き、上方落語の繁昌亭へ。3時間余りを6人の落語家がつなぎ、涼しくこじんまりした寄席で楽しむ。迫力あるアコーディオンにのせて語る女性、日本初の女性上方落語家の露の都さんなど時間を忘れてしまうほど。

(長久生實)





## 牟岐町

今年も暑い夏がやってくる。あの嫌なゴキブリが台所付近でウロウロしただけでゾッとする。我が町の会員からホウ酸団子を作ろうという声があがった。さっそくワイワイ、ガヤガヤと言いながら取りかかり、ペットボトルのふたを利用し完成。必要な会員に配布。

今年も異常な暑さに備え、衛生に気を付け、健康的に夏を乗り切りたい。我々会員一同協力し、秋に向け頑張っていきたい。(木村恵美子)



## 那賀町

5月24日(土)ふれあい健康館で「消費者まつり」が開催された。今回のテーマは「明日の地球を救うため、消費者にできること」であり、今回の消費者月間を「食」を中心とした地球にやさしい消費者行動を考え、取り組んでいくことにある。

那賀町名物「はんごろし」は、民話をもとにした平均年齢80歳のおばあちゃんが手作りした名物で、よもぎときなこの匂いが遠い昔を彷彿させるような温かみがある。

持続可能な社会を将来の世代に引き継いでいくためにも、地球環境に配慮した行動を選択していくことが求められている。那賀町消費者協会も肝に銘じて、今後の活動につなげていきたいものである。(連記かよ子)



## 西部地区

### つるぎ町

5月24日第21回消費者まつりに参加し、会員で作った「ゴキブリだんご」の販売を行った。「うちのグループでも作った。」「これ、よう効くよなあ。」等々のお声の中、来場されている方々のおかげですべてを販売することができた。

会員となって日の浅い私も、去年は環境家計簿を付け、6年度の報告書により、1人あたりのCO<sub>2</sub>排出量を目の当たりにした。他の地区の方々より多い!

今年は食品表示ウォッチャーをお手伝いする。研修を受け、資料を見る。何と知らない事が多いこと。新しい情報にふれることは楽しい。

安全安心な生活のため「消費者力」を身に付け、他の会員の方々と共に、自己啓発に努めたいと思う昨今である。

(村雲妙子)



## 北部地区

### 上板町

上板町消費者協会は、年間を通じ、アルミ缶の回収事業を役員15名で毎月ゴミステーションで行い、そのアルミ缶スチール缶の分別を月末日曜日にしている。またリサイクル活動の一環として回収に取り組んでおり、それらで得られた収益金でトイレトペーパーを購入し、毎年春期に各公共施設へ配布している。今年も6月3日に町内の学校関係、その他25カ所に合計119箱(11,424ロール)を寄贈し、消費生活の推進を図っている。

役員さんも高齢化になり大変だが、会長とメンバーが協力し、続くかぎり楽しみながら頑張っていきたい。

上板町町制施行70周年記念にあたり、10月には秋山元刑事(リーゼント刑事)を招いて消費者知識向上講演会を予定している。(上原千代子)



# 全国消費者協会連合会総会・研修会

2025年度全国消費者協会連合会総会・研修会が、6月26日、27日の両日、10の会員団体のうち7団体（うちリモート出席1団体）出席のもと、徳島県で開催されました。これは東京と東京以外の会員団体所在地の隔年開催の慣例に基づき、本年度徳島で開催されたものです。

1日目の総会では、2024年度事業報告、決算報告及び2025年度事業計画、収支予算が審議され、原案どおり可決されました。また、役員改選では、本県消費者協会の長尾会長が、新たに常任理事に選任されました。その後、各消費者協会からの事前提出資料に基づく活発な情報交換が行われ、盛況裏に総会を終えました。

総会後、徳島県庁舎内に設置されている消費者庁新未来創造戦略本部を訪問し、担当者から、本部の設置経緯や組織の概要、取り組んでいる事業の内容・特徴等について説明を受けました。参加者は、本部が取り

組んでいる事業の内容等について熱心に質問をするなど、活発な意見交換が行われました。

2日目は、視察研修として上勝町の㈱いろどりで行われている「葉っぱビジネス」を見学し、栗飯原副社長から、「葉っぱビジネス」の取り組みに至った経緯や幾多の困難を乗り越え現在に至っていること。また、事業への参加が、収入面も含めて農家の皆さんの生きがいとなっていることなど、様々なお話を興味深く伺うことができました。その後、JA東とくしま上勝支所で「葉っぱビジネス」の実際の集出荷の現場を見学し、もみじ、葉わさび、南天など、瑞々しく色鮮やかにパック詰めされた集荷物を前にして、参加者からは感嘆の声が多く上がっていました。

2日間の総会・研修会を終え、参加された皆さんからは多くの好意的な意見をいただき、無事成功裏に終えることができました。



## 情報掲示板

徳島県消費者情報センター

### ハンディファンも気をつけて ～リチウムイオン電池からの発火～

モバイルバッテリーやワイヤレスイヤホン、これからの季節に利用する機会の多いハンディファン等にはリチウムイオン電池が搭載されています。リチウムイオン電池は小型大容量で、繰り返し使用できることから身の回りの様々な商品に使われていますが、便利な一方で発煙、発火の事故は気温が上昇する6月～8月に多く発生しています。

リチウムイオン電池が搭載された商品を購入する時は製造・販売元が明示されていない商品や仕様が不明確な商品は避けましょう。また、落下などで電池に衝撃が加わると、発煙・発火・爆発等の事故に繋がる可能性があります。持ち運び時には取り扱いに注意し、電池に膨張が見られたり、充電中に以前より熱くなったり、充電できない等の異常を発見したら使用を控えましょう。

（メールマガジン7月8日配信）



## 受賞おめでとうございます。

消費者支援功労者表彰 ベスト消費者サポーター章  
長久生 實 様（阿南市消費者協会）  
徳島県表彰  
原 ひろみ 様（海陽町消費者協会）  
全国消費者協会連合会表彰  
内山 眞弓 様（徳島市消費者協会）  
くらしのサポーター活動功労者表彰  
大串 ヒデ子 様（鴨島町消費者協会）  
南 蘭 民 代 様（山川町消費者協会）  
消費生活コーディネーター活動功労者表彰  
高井 マサ代 様（三好市消費者協会）  
徳島環境サステナブル賞  
阿波市消費者協会

## 令和7年度徳島県消費者協会通常総会

令和7年5月19日、とくぎんトモニプラザにおいて開催され、令和6年度事業報告及び決算報告、令和7年度事業計画及び活動予算の両議案が承認されました。

任期満了に伴う役員改選についても承認され、長尾和子新会長以下10名の理事と2名の監事が就任しました。

また、組織協力賞が海陽町消費者協会に、グリーン購入協力賞が徳島市消費者協会、小松島市消費者協会、上板町消費者協会、阿南市消費者協会及び美波町消費者協会にそれぞれ授与されました。